

＝今後の防災・避難を考える講話会＝

繰り返し自然災害が発生しています。いつ被災当事者になるかわかりません。
過去の体験に耳を傾け、経験者の思いを共有することから学びます。

令和2年 2月29日(土) 15:00～17:30

会場：千葉市生涯学習センター 3階 研修室3
(住所:千葉市中央区弁天3丁目7-7)

定員：30名(申込順)

参加費：100円(資料代)

お問合せ・申込み：裏面に掲載



東日本大震災の被災経験

勤務先の病院で被災！ 患者を守るために

講演者：加藤信子さん



福島県南相馬市から、北海道函館市に避難。
東日本大震災発生時、原発から20キロ圏内の南相馬市の精神科病院で、臨床検査技師とリスクマネージャーとして勤務。どこからも、避難指示の連絡がないまま、病院職員自ら判断して、100名以上の患者を守るため奔走。患者の受け入れ先のあてもない中での全員避難。患者さんを全員避難させるまでの体験をお話していただきます。(加藤さんたち職員が自らの「避難」を開始できたのは、発災から8日後のことでした)

昨年の千葉県内の台風、豪雨災害の経験

高齢者施設での取組み 利用者を守るために

講演者：鳥越浩さん



千葉市老人福祉施設協議会会長、千葉市社会福祉審議会委員、社会福祉法人白雪会「軽費老人ホームほんだくらぶ」理事長、NPO法人ハートケアゆーあい理事長

2019年、千葉県内では、台風や豪雨により、県内各地の高齢者福祉施設等では甚大な被害を経験。県内各地の施設での避難等災害対応の事例を交えて、「施設の避難」、「要配慮者の為の避難所」など、施設での防災・減災への意識や取組みについてお話していただきます。